



きんぶせんじ  
**金峯山寺の秘仏本尊・**  
ざおうこんげんぞう  
**蔵王権現像のVR映像を**  
**大型スクリーンで紹介!!**

VR映像「金峯山寺」より 製作協力：総本山金峯山寺 製作著作：TOPPAN

金峯山寺の本堂である蔵王堂(国宝)には、像高7メートルに及ぶ日本最大の秘仏本尊・蔵王権現像3軀(重要文化財)がまつられています。金峯山寺とTOPPANが約4年の歳月をかけて実施した三次元形状計測や超高精細デジタル撮影等をもとに、蔵王堂と蔵王権現像の姿を目の前にあるかのように体感できるVR(バーチャルリアリティ)映像で再現しました。本展では展示室内に幅約18メートル、高さ約4.5メートルの大型スクリーンを設け、迫力ある映像空間をご堪能いただけます。



※画像はイメージです。

ロサンゼルスから里帰り!!  
**桜との深い縁を**  
**象徴する**  
**蔵王権現像!!**

額上に桜をかたどった冠飾りをつける



蔵王権現立像  
鎌倉時代(13世紀)  
アメリカ  
ロサンゼルス・カウンティ美術館(LACMA)



金峯山寺仁王門安置の  
**金剛力士像を**  
**仏像館で**  
**特別公開中!!**

※本展の観覧券でご覧になれます

金剛力士立像  
南北朝時代 延元4年(1339)  
奈良・金峯山寺



観覧料金(税込)	一般	高大生	中学生以下
当日	2,000円	1,500円	無料
前売・団体	1,800円	1,300円	

※前売券の販売開始時期は未定です。

※高大生の方は学生証をお持ちください。※団体は20名以上。※障害者手帳またはマイロID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良博メンバーシップカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)、賛助会員(奈良博、東博[シルパ会員を除く]、九博)、清風会会員(京博)、特別支援者は無料。※本展の観覧券で、名品展(仏像館・青銅器館)もご覧いただけます。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は400円、同(教職員)の方は1,900円で当日券をお求めいただけます。観覧券売場にて学生証または職員証をご提示ください。



**奈良国立博物館** 〒630-8213 奈良市登大路町50番地  
NARA NATIONAL MUSEUM ハローダイヤル 050-5542-8600  
<https://www.narahaku.go.jp/>

[交通案内]近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

最新情報は展覧会公式サイトへ  
[https://tsumugu.yomiuri.co.jp/yoshino\\_omine2026/](https://tsumugu.yomiuri.co.jp/yoshino_omine2026/)  
展覧会公式X @yoshino\_omine



山 仏 神  
**太峯**  
よしの  
**吉野**



蔵王権現に  
祈りげと美

2026  
4/10(金)  
6/7(日)

【前期】4/10(金) 5/10(日)  
【後期】5/12(火) 6/7(日)

休館日：毎週月曜日 ※ただし4月27日(月)、5月4日(月・祝)は開館  
開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入場は開館の30分前まで

主催：奈良国立博物館、総本山金峯山寺、読売新聞社、NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿 特別協力：大峯山寺、文化庁  
企画協力：TOPPAN 特別支援：DMG森精機 協力：仏教美術協会

※会期中、一部の作品は展示替えを行います  
※展示作品、会期等については、今後の随時変更により変更する場合があります  
中央：蔵王権現立像 平安時代(12世紀) 奈良 大峯山寺  
右下：国宝 船紙金字阿彌陀經(金峯山経塚出土) 藤原道長筆  
平安時代 寛弘4年(1007) 奈良 金峯山寺  
背景：かくし平から見た日の出(写真提供：飛鳥園)

**奈良国立博物館**  
NARA NATIONAL MUSEUM



# 第1章 伝説の地 吉野

重要文化財  
蔵王権現立像  
5 軀  
平安～鎌倉時代  
(12～13世紀)  
奈良 大峯山寺



大峯山寺より  
寺外初公開を  
含む蔵王権現像が  
一挙降臨!



国史 藤原道長  
役行者および二見像  
室町時代(15世紀)  
奈良 吉水神社

国史 蔵王権現鏡像  
平安時代 長保3年(1001)  
東京 西新井大師總持寺



藤原道長が  
山上に遺した  
祈りのタイムカプセル



神々や仙人が住まう、神秘的で謎めいた場所として崇められてきた吉野・大峯。奈良の吉野から和歌山の熊野へと至る大地とされ、古来人々は特別な力や悟りを得ようと大自然の中で厳しい行に身を投じてきました。平安時代には藤原道長ら都の貴族や天皇がこぞ参詣し、南北朝時代になると後醍醐天皇が吉野山内に政治の拠点を置いたように、各時代を通じて特別な場所でありつづけてきました。

近年、道長が自ら書写して大峯に埋納した紺紙金字経の断簡が金峯山寺で大量に発見され、大きな注目を集めました。1000年以上も前に、道長が山岳修行の本尊・蔵王権現に祈りをこめて奉納したこの経巻を本来の姿に復元すべく、目下保存修理が進められています。

本展では、道長自筆の国宝・紺紙金字経を修理後初公開するとともに、山岳修行の祖・役行者像や蔵王権現像、曼荼羅や鏡像、修行者を見守ってきた仏像など、自然と神仏への信仰が一体となって生み出されたこの地域ならではの宝物を一堂に展観します。

神仏の山、吉野・大峯に集った人びとは、蔵王権現の守護する険しい山の上にとどのような祈りを捧げたのでしょうか。修験道の聖地、吉野・大峯の魅力を広くご紹介する展覧会です。

# 山岳修行の拠点!?桜の名所!? かつてない規模で “聖地”の全貌に迫る!!

## 第2章

### 金峯山の頂へ

国史 藤原道長経筒  
平安時代 寛弘4年(1007)  
奈良 金峯神社

## 第4章

### 後醍醐天皇 吉野へ

重要文化財  
如意輪観音坐像  
鎌倉時代  
延慶3年(1310)  
奈良 如意輪寺

天下人・秀吉の  
絢爛な  
花見を描く

## 第5章

### 豊臣秀吉 華の宴

重要文化財 吉野花見回屏風 左隻(部分)  
桃山時代(16世紀)  
京都 細見美術館



# 第3章 ひろがる信仰世界

信仰世界の見取り図  
吉野の神仏大集合



重要文化財  
蔵王権現立像  
鎌倉時代 嘉禄2年(1226)  
奈良 如意輪寺

重要文化財  
吉野曼荼羅  
南北朝時代(14世紀)  
奈良 西大寺

後醍醐天皇も  
祈りを捧げた  
秘仏本尊



重要文化財 後醍醐天皇像  
南北朝時代(14世紀)  
神奈川 清浄光寺(遊行寺)

## 第6章

### 近世・近代の吉野と奈良



奈良の町の  
山上講の本尊

重要文化財  
理徳大師御像  
江戸時代(17世紀)  
奈良 餅殿殿町財団